



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイティフォー

コード番号 4743 URL <http://www.itfor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 東川 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,267	△4.2	465	△15.0	503	△12.6	339	△9.4
28年3月期第2四半期	5,497	14.0	547	120.6	575	115.7	375	107.1

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 344百万円 (139.6%) 28年3月期第2四半期 143百万円 (△71.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	11.91	11.86
28年3月期第2四半期	13.22	13.10

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	13,902	11,227	80.6	396.69
28年3月期	14,962	11,750	77.5	403.74

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 11,204百万円 28年3月期 11,598百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、従来より、連結配当性向30%以上を目処に、期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。今後ともこの配当方針に基づく配当を実施してまいりますので、期末配当金および年間配当金の記載を「—」と表記しております。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	9.4	1,650	7.1	1,650	3.9	1,150	13.5	40.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	29,430,000 株	28年3月期	29,430,000 株
29年3月期2Q	1,185,922 株	28年3月期	702,558 株
29年3月期2Q	28,526,836 株	28年3月期2Q	28,371,714 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成28年11月24日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高による企業収益の落ち込みが懸念されることや、海外も先進国の景気に底打ち感が見られるものの中国をはじめとする新興国の経済成長率鈍化が懸念材料となっており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。しかしながら、8月に閣議決定された28兆円超の経済対策による公共投資の持ち直しや、人手不足を背景とした雇用所得環境の改善、設備等の老朽化を背景として収益動向に左右されない更新投資を進める企業の増加などが景気下支え要因となっております。

当社グループの属する情報サービス業界におきましても、金融や流通分野での制度対応としてのシステム更新のほか、戦略投資としてのIT投資案件が増加しており、クラウド技術を利用した新しいビジネスの伸展、ビッグデータの分析・活用、フィンテックなどを背景に、市場環境は引き続き良好な状態が続くものと思われま

す。このような環境下、当社グループでは、2015年度から2017年度の3カ年で売上高150億円を目指す中期経営計画「Step Up Next 150-2018」を策定し、当年度はその中間年度として、既存事業の継続的成長、システムソリューション品質の継続的向上、グループ経営の強化などに取り組んでおります。主力商品である金融機関向けプロダクトは、金融機関の収益環境が人口減やマイナス金利により厳しい状況となる中、収益源の多様化や業務の効率化を進めていくためのフィンテックを活用したソリューションの提案など積極的に営業活動を行ってまいりました。小売業向け基幹システムやeコマースシステムでは、前期に受注した百貨店の基幹システム、自社クレジット、キャッシングシステムが順調に稼働を開始しました。また、これらのクレジット決済の国際的なセキュリティ規格であるPCIDSS準拠対応の取組を進め、決済情報が経路するセキュアな端末やネットワーク基盤の開発を進め、端末についてはICカード付クレジットカードを発行している大手カード会社によるブランド認定を受けております。注力市場として取り組んでいる公共分野においては、地方自治体での国民健康保険料などの収納率向上のためのBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）業務や学務支援システムの受注を政令指定都市等で獲得いたしました。利益面では、売上高の減少と研究開発費の増加による影響が生じております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,267百万円（前年同期比95.8%）、営業利益は465百万円（前年同期比85.0%）、経常利益は503百万円（前年同期比87.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は339百万円（前年同期比90.6%）となりました。

なお、当社グループでは、顧客への出荷や納期が9月および3月に集中する傾向があります。

当社グループは、システムインテグレーターとして顧客の業態やニーズに応じたソフトウェアを開発し、システム機器や関連商品と併せて提供するほか、情報通信ネットワークの構築・運用管理や保守サービスに至るITソリューション・サービスを行うとともにBPOなどを行っております。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の営業概況は次のとおりです。

#### （システムソリューション）

システムソリューションでは、地方銀行における非対面チャネルの見直しと再構築においてコールセンターシステムの受注を複数行から獲得しております。また、新規顧客として、メーカー系クレジット会社より延滞債権システム、審査システム、個人信用情報登録システムの案件を獲得し、既存顧客の大手のクレジット会社・ネット銀行・保証会社からも、継続的に追加案件やレベルアップ案件を獲得しております。コールセンター向けソリューションにおいては、ロボティックオートメーションにより電話対応の効率化とバックオフィス業務の自動化を実現するNICE RTS（ナイス・リアルタイムソリューション）の国内第1号ユーザーを獲得しました。小売業向けでは専門店ですべて新規に基幹システムRITSをベースにした統合基幹システムを受注したほか、既存顧客からの更新受注も獲得しました。eコマースシステムにつきましては、前期受注した大型案件が稼働し、既存ユーザーからの新たな受注も獲得しております。

その結果、受注高は2,883百万円（前年同期比89.3%）、売上高は2,666百万円（前年同期比94.5%）、営業利益は613百万円（前年同期比110.7%）となりました。

#### （サービスソリューション）

サービスソリューションでは、安定収益源である保守サービスや公共分野向けビジネスを中心に活動しています。注力市場として取り組んでいる公共分野向けビジネスは、前期に受注を獲得したBPO案件が期初から売上に寄与しており、順調に拡大していますが、BPO案件の立ち上げに伴う費用も増大しています。

その結果、受注高は1,422百万円（前年同期比104.3%）、売上高は1,527百万円（前年同期比102.9%）、営業利益

は174百万円（前年同期比67.3%）となりました。

（基盤ソリューション）

基盤ソリューションでは、システム機器販売、基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステム、クラウド基盤関連ソリューションの提供を事業展開しています。今期より新たな事業領域として、クラウドサービス基盤の構築に取組み、回線関連でもアイティフォー光プラスを発売しましたが、前期にあった一部顧客による大型受注の反動減や大手モバイル通信キャリア向け案件の投資が一段落したことなどにより、受注が大幅に減少しました。

その結果、受注高は883百万円（前年同期比63.3%）、売上高は1,074百万円（前年同期比89.6%）、営業利益は151百万円（前年同期比68.7%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は13,902百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,060百万円減少いたしました。流動資産は9,828百万円となり、967百万円減少いたしました。主な原因は、受取手形及び売掛金が902百万円、現金及び預金が129百万円減少したことなどです。固定資産は4,074百万円となり、92百万円減少いたしました。主な原因は、無形固定資産のその他が59百万円減少したことなどです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は2,674百万円となり、前連結会計年度末に比べて536百万円減少いたしました。流動負債は2,415百万円となり、539百万円減少いたしました。主な原因は、買掛金が408百万円減少したことなどです。固定負債は259百万円となり、2百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は11,227百万円となり、前連結会計年度末に比べて523百万円減少いたしました。主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により339百万円、ストックオプションの権利行使による自己株式の減少により108百万円増加しましたが、剰余金の配当の支払いにより488百万円、自己株式の取得により421百万円減少したことなどです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.5%から80.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は4,951百万円となり、前連結会計年度末と比べ529百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動から得られた資金は773百万円（前年同期比219.7%）となりました。主な増加要因は売上債権の減少額905百万円、税金等調整前四半期純利益517百万円であり、主な減少要因は仕入債務の減少額408百万円、法人税等の支払額264百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は443百万円（前年同期比387.3%）となりました。主な増加要因は定期預金の払戻による収入150百万円であり、主な減少要因は有価証券の純増加額500百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は859百万円（前年同期比261.6%）となりました。主な減少要因は配当金の支払額488百万円、自己株式の取得による支出421百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での業績予想につきましては、2016年5月2日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益にあたる影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,801,199	2,671,275
受取手形及び売掛金	2,951,266	2,048,625
有価証券	4,449,079	4,399,955
たな卸資産	317,913	380,836
その他	276,614	327,586
貸倒引当金	△49	△48
流動資産合計	10,796,024	9,828,231
固定資産		
有形固定資産	700,451	691,744
無形固定資産		
のれん	245,438	230,563
その他	982,875	923,153
無形固定資産合計	1,228,314	1,153,716
投資その他の資産		
投資有価証券	1,686,842	1,706,535
その他	550,939	522,326
投資その他の資産合計	2,237,781	2,228,861
固定資産合計	4,166,547	4,074,322
資産合計	14,962,571	13,902,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,236,968	828,842
未払法人税等	262,768	187,712
賞与引当金	320,457	284,140
その他	1,134,367	1,114,689
流動負債合計	2,954,562	2,415,384
固定負債		
役員退職慰労引当金	15,870	16,620
退職給付に係る負債	204,302	200,842
その他	37,025	42,128
固定負債合計	257,197	259,590
負債合計	3,211,760	2,674,975
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,309,864	1,345,529
利益剰余金	9,031,576	8,883,018
自己株式	△274,965	△557,986
株主資本合計	11,191,144	10,795,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	420,313	418,377
繰延ヘッジ損益	△3,289	△464
退職給付に係る調整累計額	△9,879	△9,010
その他の包括利益累計額合計	407,144	408,902
新株予約権	59,421	20,801
非支配株主持分	93,102	2,643
純資産合計	11,750,811	11,227,578
負債純資産合計	14,962,571	13,902,554



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
売上高	5,497,894	5,267,009
売上原価	3,562,488	3,411,401
売上総利益	1,935,405	1,855,608
販売費及び一般管理費	1,387,849	1,389,940
営業利益	547,555	465,667
営業外収益		
受取利息	2,071	620
受取配当金	19,907	21,064
持分法による投資利益	329	4,048
その他	13,197	16,400
営業外収益合計	35,506	42,133
営業外費用		
支払手数料	1,880	3,999
固定資産除却損	5,472	1
その他	—	497
営業外費用合計	7,352	4,498
経常利益	575,709	503,303
特別利益		
新株予約権戻入益	21,370	13,973
特別利益合計	21,370	13,973
税金等調整前四半期純利益	597,080	517,277
法人税等	214,848	174,539
四半期純利益	382,232	342,737
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,196	2,927
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,035	339,809

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
四半期純利益	382,232	342,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△238,746	△1,726
繰延ヘッジ損益	△668	2,825
退職給付に係る調整額	897	868
持分法適用会社に対する持分相当額	69	△190
その他の包括利益合計	△238,448	1,777
四半期包括利益	143,783	344,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,622	434,972
非支配株主に係る四半期包括利益	7,161	△90,458

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	597,080	517,277
減価償却費	105,064	175,436
のれん償却額	14,875	14,875
株式報酬費用	18,499	5,376
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,109	△36,316
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,197	△2,204
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
受取利息及び受取配当金	△21,979	△21,685
持分法による投資損益 (△は益)	△329	△4,048
固定資産除却損	5,472	1
新株予約権戻入益	△21,370	△13,973
売上債権の増減額 (△は増加)	36,032	905,416
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30,166	△62,923
仕入債務の増減額 (△は減少)	△175,414	△408,126
その他	△54,134	△52,657
小計	461,715	1,016,445
利息及び配当金の受取額	21,971	21,589
法人税等の支払額	△131,564	△264,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	352,122	773,585
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	150,000
有価証券の純増減額 (△は増加)	199,987	△500,318
有形固定資産の取得による支出	△55,953	△51,354
無形固定資産の取得による支出	△262,901	△46,404
保険積立金の積立による支出	△3,487	△234
その他	7,786	4,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,568	△443,755
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	-	△421,245
自己株式の処分による収入	95,644	85,184
配当金の支払額	△424,041	△488,238
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△34,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	△328,397	△859,022
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△90,843	△529,191
現金及び現金同等物の期首残高	4,458,846	5,480,455
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,368,002	4,951,264

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システムソリューション」、「サービスソリューション」、「基盤ソリューション」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は以下の通りです。

セグメント名称	内容
システムソリューション	パッケージソフトウェアに関する設計・開発から保守までの一貫したサービスの提供
サービスソリューション	カスタマーサービス、電話・訪問催告や窓口支援を行うBPOサービスの提供
基盤ソリューション	システム機器販売、基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステム、クラウド関連ソリューションの提供

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	システム ソリューション	サービス ソリューション	基盤 ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,821,185	1,484,262	1,192,445	5,497,894	—	5,497,894
セグメント間の内部売上高 又は振替高	946	—	7,219	8,165	△8,165	—
計	2,822,131	1,484,262	1,199,664	5,506,059	△8,165	5,497,894
セグメント利益	554,524	259,050	220,901	1,034,476	△486,920	547,555

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△486,920千円は、セグメント間取引消去△1,218千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△485,702千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	システム ソリューション	サービス ソリューション	基盤 ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,666,402	1,527,156	1,073,450	5,267,009	—	5,267,009
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,053	1,053	△1,053	—
計	2,666,402	1,527,156	1,074,503	5,268,063	△1,053	5,267,009
セグメント利益	613,711	174,252	151,752	939,715	△474,048	465,667

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△474,048千円は、セグメント間取引消去747千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△474,795千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。